

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2008年4月15日】

団体名 市民活動支援のためのミニコミ資料室をつくる会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

市民活動資料の試行的公開スペース「ミニコミ広場」の運営と充実

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ミニコミなど市民活動から生み出された資料は、市民活動の力量形成に資すると同時に、新しい社会を拓くための研究など、インターネットから得られる情報とは別の、計り知れない価値を持っています。しかし、そのような資料を集めて公開している施設は少なく、一方で貴重な資料が廃棄され失われています。多摩地域でも以前は都立多摩社会教育会館が30年間市民活動資料を収集し公開してきましたが、資料室が廃止されたため、都と交渉し、資料を確保することに成功しました。また今生み出されている資料の収集も開始し、2006年からは「ミニコミ広場」を設けて試行的に公開しています。活動を充実させ、1日も早く新しい資料室をつくりたいと思います。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

- ①「ミニコミ広場」を毎週月曜日の午後に開室し、収集したミニコミを公開しました。またミニコミや市民活動についての相談に可能な限り応えました。
- ②収集したミニコミ等を分類・整理し、配架しました。(毎週1~3日、事務所と「ミニコミ広場」で実施)
- ③「ミニコミ広場」にカーテンを交換したり、新たに取付ける等の環境整備を実施しました。
- ④毎月第3月曜日にミニコミのつどいを開催しました。
- ⑤ミニコミの意義と「ミニコミ広場」を広く知ってもらうためにさまざまな機会を捉えて積極的にPRしました。
- ⑥中古書架の寄贈申し出があり、ミニコミ広場の書架を増やすのと同時に、将来のミニコミ資料室のために保管場所を確保し移送作業を実施。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ①「ミニコミ広場」を毎週月曜日に必ず開くことをめざし、お盆休みと年末年始を除き、計54回開室しました。
- ②「ミニコミ広場」を定期的の開室し、さまざまな機会にPRして、当会の活動や「ミニコミ広場」の存在が少しずつ広まり、新規ミニコミ収集に努力した結果、目標の100タイトルを超える新規ミニコミファイルを作成しました。
- ③また、書架の寄贈の申し出により、「ミニコミ広場」の書架数を5連から9連に増やすことができたと同時に、将来のミニコミ資料室のための書架を確保できました。
- ④毎月第3月曜日にミニコミのつどいを計10回開催しました。
- ⑤「ミニコミ広場」の整備により、収集したミニコミを効率よく分類・整理、配架できました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

活動が5年目に入り、収集→分類・整理→公開のサイクルができました。「ミニコミ広場」の充実により、試行的公開の場を持つ意味を実感しています。古い民間アパートでの公開はスペースや防災上限界がありますが、気兼ねなくミニコミを利用していただけるようになりました。また収集・整理・公開が効率的に進められるようになったため、新たな送付依頼がしやすくなり、定期的なボランティアにも来てもらえるようになりました。しかし維持費の捻出は厳しく、今年度これらを実現できたのは助成金のお陰であり、大変感謝しています。一方でパンフレット・ニュース作成などに取り組めなかったため、今後力を入れる必要を感じています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

